（※整理券が必要です）　　　　　　　　　　　　　　　　　対象学年：制限なし（幼児可）

28 液体窒素を使った化学マジック

阿南工業高等専門学校化学実験同好会

1．実験を行う前に

液体ちっそがじょうはつしたちっそガスは、空気中のさんそ濃度をうすめるので空気の入れ替えを行う。さんそ濃度計をつかって空気中のさんそ濃度が 16 ％以下にならないようにする。目に液体ちっそが入らないようにする。取り扱いには安全めがねと皮手袋を使用する。液体ちっそは玉のようにとびちるので取り扱いはていねいに行う。

2．つかう道具

液体ちっそと容器、たけトング、ガラスつつ２本、金属つつ、皮手袋、水、風船、さんそ濃度計、トレー、電池、うで時計、ＬＥＤ、バナナ、木の板、くぎ、しけんかん２本、丸底フラスコ、バラ、安全めがね、せんこう、しけんかんばさみ、フリクションボールペン（消せるボールペン）

3．実験ないよう（かかる時間）

水をつかって液体ちっその説明（10 分）

①　水がこおることから液体ちっそが冷たいことがわかる。

②　水風船がこおることから液体ちっそが０℃より冷たいことがわかる。

③　空気の入った風船を液体ちっその中につけると風船の体積が小さくなることから液体ちっそがとても冷たいことがわかる。

実験１、電池、時計をこおらせてみよう（10分）

実験２、バナナで釘は打てる？打てない？（５分）

実験３、消せるボールペンで消した文字は復活するか？（５分）

実験４、薔薇バラバラ（２分）

下記の時間に先着順（整列）に親子等１組に１枚ずつ整理券を配付します。
※配付時間の５分前から受付を開始します。
①10：00（50枚）　②11：30（50枚）　③13：00（50枚）
体験開始時間は①10：30②12：00③13：30になります。